

配水管工事標準仕様書 令和4年4月

(令和7年4月 一部改定)

新旧対照表及び改定の要旨

配水管工事標準仕様書 (R7.4 一部改定)	配水管工事標準仕様書 (R7.4 一部改定)	配水管工事標準仕様書 (R4.4) ※令和4年版以降の一部改定含む	改定の要旨							
<p>接合</p> <p>ル铸铁管の接合) に準拠するほか、次の規定によること。 ただし、R方式については、(3) R方式の規程によること。</p>	<p>接合</p> <p>ル铸铁管の接合) に準拠するほか、次の規定によること。 ただし、R方式については、(5) R方式の規程によること。</p> <p>(2) ビニルチューブ (VT) 方式</p> <p>ア 受注者は、ロックリングを完全に挿し口外面に圧着させた状態で切断面の間隔 (a-1) を測定し記録すること。</p> <p>イ 受注者は、受口の位置決めについては、ビニルチューブ取出し口を必ず管頂付近に来るようにすること。</p> <p>ウ 受注者は、受口の溝にビニルチューブをねじれないように挿入すること。</p> <p>エ 受注者は、ロックリングのセットに当たっては、ロックリングの切断箇所が必ず管底に来るようにすること。</p> <p>オ 受注者は、挿し口を受口に挿入する前に、受口内面奥に表 4.21 に規定する胴付間隔に相当するディスタンスピースを置くこと。 なお、特別な理由で胴付間隔を変える場合は、その寸法のディスタンスピースを用いること。 また、使用したディスタンスピースは、接合完了後必ず撤去すること。</p> <p style="text-align: center;">表 4.21 標準胴付間隔 (単位 mm)</p> <table border="1" data-bbox="1668 999 2371 1180"> <thead> <tr> <th>呼び径</th> <th>胴付間隔(Y)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>700 ~ 1500</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>1600 ~ 2400</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>2600</td> <td>130</td> </tr> </tbody> </table> <p>カ 受注者は、ロックリングが挿し口に充分装着されているかを確認すること。 確認方法は、挿し口を受口に挿入後、ロックリング切断面の間隔 (a-2) を測定して記録し、この時の間隔とアで測定した間隔 (a-1) とを比較し $a-2 \leq a-1 + 3 \text{ mm}$ であれば正常と判断すること。</p> <p>キ 受注者は、ビニルチューブへのモルタル充てんに使用するモルタルの配合を水 : セメント : 砂 = 1 : 2 : 0.7 (質量比) とすること。 なお、充てんは水密機構部の接合が終わってから行うこと。</p> <p>(3) セットボルト (SB) 方式</p> <p>受注者は、(2) のア、オ及びカに準拠するほか、次の規定によること。</p> <p>ア 受注者は、セットボルトを受口溝の内面までねじ込み、ロックリングを受口溝内にあずけ、この時ロックリングの分割部をセットボルト</p>	呼び径	胴付間隔(Y)	700 ~ 1500	105	1600 ~ 2400	115	2600	130	<p>改定の要旨</p> <p>OUS形 (SB方式、VT方式) の廃止に伴い、削除しました。</p>
呼び径	胴付間隔(Y)									
700 ~ 1500	105									
1600 ~ 2400	115									
2600	130									

(2) ロックリング絞り (LS) 方式

- ア 受注者は、ロックリングを完全に挿し口外面に圧着させた状態で切断面の間隔 (a 1) を測定し記録すること。
- イ 受注者は、ロックリングのセットに当たっては、ロックリングの切断箇所が必ず管底に来るようにすること。
- ウ 受注者は、挿し口を受口に挿入する前に、受口内面奥に表 4.21 に規定する胴付間隔に相当するディスタンスピースを置くこと。
 なお、特別な理由で胴付間隔を変える場合は、その寸法のディスタンスピースを用いること。
 また、使用したディスタンスピースは、接合完了後必ず撤去すること。

表 4.21 標準胴付間隔 (単位 mm)

呼び径	胴付間隔(Y)
700 ~1500	105
1600 ~2400	115
2600	130

- エ 受注者は、受口の溝にロックリング絞り用ゴムをねじれないように挿入すること。
 なお、口径 800 ~ 1000 はロックリング絞り用ゴムが無いので、この作業は不要である。
- オ 受注者は、ロックリング絞り用ゴムの装着は円周 4 か所の穴の位置・向きを確認し、図 4.19 の方法で行うこと。
- カ 受注者はロックリング絞り用ゴスを管に装着後、ロックリング絞り用ゴムの表面にダクマイル鉄管継手用滑材を塗布すること。
- キ 受注者は、ロックリングが挿し口に充分装着されているかを確認すること。
 確認方法は、挿し口を受口に挿入後、ロックリング切断面の間隔 (a 2) を測定して記録し、この時の間隔と挿入前に測定した間隔 (a 1) とを比較し、呼び径 800 ~ 1500 の場合は $a 2 \leq a 1 + 5 \text{mm}$ 、呼び径 1600 以上の場合は $a 2 \leq a 1 + 8 \text{mm}$ であれば正常と判断すること。

~~用タップ穴の間隔の最も狭いところの中間になるようにすること。~~
~~イ 受注者は、胴付間隔は表 4.21 の規定によること。~~
~~ウ 受注者は、ロックリングをセットボルトで締め付け、全部の締め付け完了後ロックリング内面が全周挿し口外面に接触 (部分的な 1mm 以内の隙間のあるものは、可とする。) していることを確認すること。~~

(4) ロックリング絞り (LS) 方式

- 受注者は、(2) のア、エ及びオに準拠するほか、次の規程によること。
- ア 受注者は、受口の溝にロックリング絞り用ゴスをねじれないように挿入すること。
 なお、口径 800 ~ 1000 はロックリング絞り用ゴムが無いので、この作業は不要である。
- イ 受注者は、ロックリング絞り用ゴムの装着は円周 4 か所の穴の位置・向きを確認し、図 4.19 の方法で行うこと。
- ウ 受注者はロックリング絞り用ゴスを管に装着後、ロックリング絞り用ゴムの表面にダクマイル鉄管継手用滑材を塗布すること。
- エ 受注者は、ロックリングが挿し口に充分装着されているかを確認すること。
 確認方法は、挿し口を受口に挿入後、ロックリング切断面の間隔 (a 2) を測定して記録し、この時の間隔と挿入前に測定した間隔 (a 1) とを比較し、呼び径 800 ~ 1500 の場合は $a 2 \leq a 1 + 5 \text{mm}$ 、呼び径 1600 以上の場合は $a 2 \leq a 1 + 8 \text{mm}$ であれば正常と判断すること。

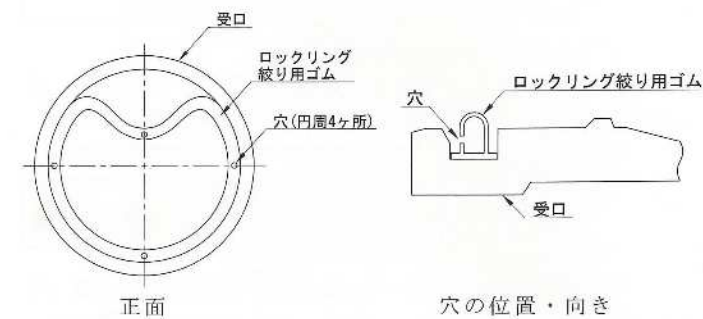


図 4.19 ロックリング絞り用ゴム装着方法 (呼び径 1100 以上)

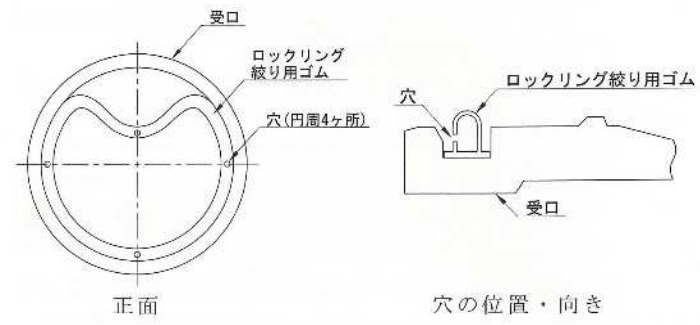


図 4.19 ロックリング絞り用ゴム装着方法 (呼び径1100以上)

(3) R方式 (呼び径 1500~2600) (図 4.19-1)

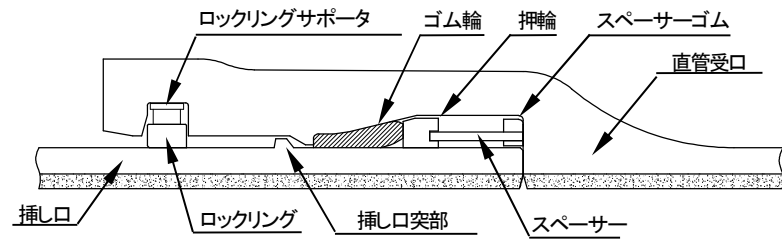


図 4.19-1 直管の継手構造

受注者は、(2) のア及びイに準拠するほか、次の規程によること。

ア 受注者は、受口溝にロックリングサポータを装着する。ロックリングサポータは、支持ピース (SUS 板) と樹脂ピース (樹脂板) を、連結ピースを用いて交互に組み立てること。(図 4.19-2)

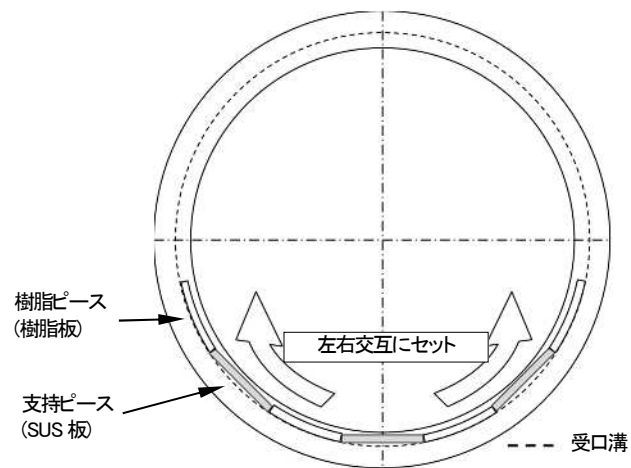


図 4.19-2 ロックリングサポータのセット

イ 受注者は、ロックリング分割部をコイル状に重ね合わせ、受口溝内に預け入れること。

ウ 受注者は、ロックリング分割部を拡大器を使って拡大し、ストップをセットすること。

エ 受注者は、挿し口端部から挿し口突部までの挿し口外面及び受口内面のゴム輪がセットされる部分にダクタイル鉄管継手用滑材を塗布すること。

オ 受注者は、接合に必要な胴付き間隔を確保するため、受口内面奥にディスタンスピースをセットし、ロックリングに挿し口が当たらないように注意しながら、受口に挿し口を挿入する。

(5) R方式 (呼び径 1500~2600) (図 4.19-1)

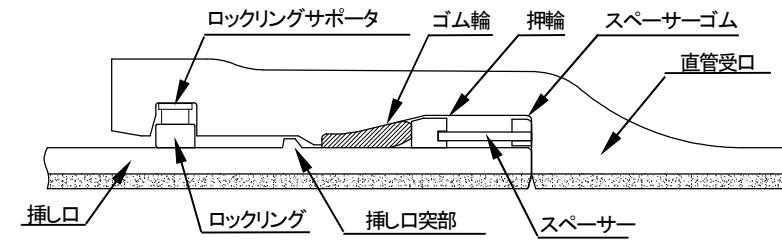


図 4.19-1 直管の継手構造

受注者は、(2) のア及びエに準拠するほか、次の規程によること。

ア 受注者は、受口溝にロックリングサポータを装着する。ロックリングサポータは、支持ピース (SUS 板) と樹脂ピース (樹脂板) を、連結ピースを用いて交互に組み立てること。(図 4.19-2)

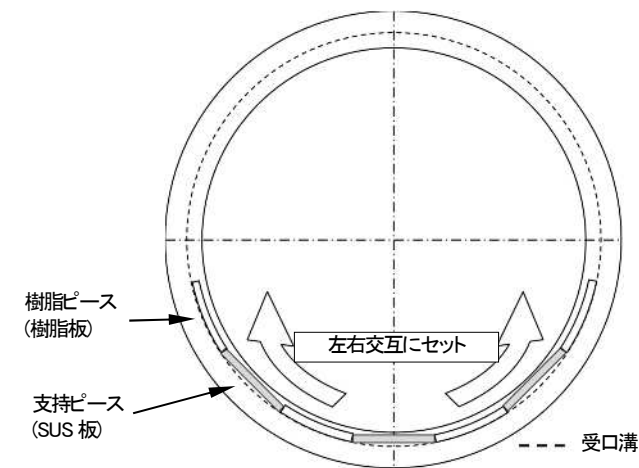


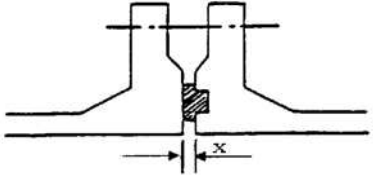
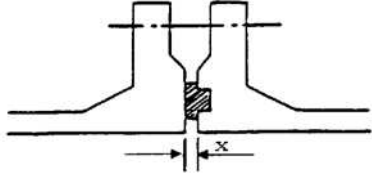
図 4.19-2 ロックリングサポータのセット

イ 受注者は、ロックリング分割部をコイル状に重ね合わせ、受口溝内に預け入れること。

ウ 受注者は、ロックリング分割部を拡大器を使って拡大し、ストップをセットすること。

エ 受注者は、挿し口端部から挿し口突部までの挿し口外面及び受口内面のゴム輪がセットされる部分にダクタイル鉄管継手用滑材を塗布すること。

オ 受注者は、接合に必要な胴付き間隔を確保するため、受口内面奥にディスタンスピースをセットし、ロックリングに挿し口が当たらないように注意しながら、受口に挿し口を挿入する。

配水管工事標準仕様書 (R7.4 一部改定)	配水管工事標準仕様書 (R4.4) ※令和4年版以降の一部改定含む	改定の要旨																																																																	
<p align="center">第4節 その他の管の接合及び据付け</p>	<p align="center">第4節 その他の管の接合及び据付け</p>																																																																		
<p>4.4.1 一般事項</p> <p>4.4.2 フランジ継手の接合</p>	<p>受注者は 4.2.1 (一般事項) 及び 4.3.1 (一般事項) に準拠して、ダクタイル鋳鉄管、鋼管及びステンレス鋼管の接合をすること。</p> <p>(1) RF形 (大平面座形) フランジとRF形フランジとの接合</p> <p>ア 受注者は、フランジ面を清掃し、異物のかみ込みを防ぐこと。</p> <p>イ 受注者は、移動が生じないようにガスケットに接着剤 (シアノアクリレート系) を塗布し、固定すること。</p> <p>なお、酢酸ビニル系及び合成ゴム系の接着剤は、使用しないこと。</p> <p>ウ 受注者は、ボルトが片締めにならないよう全周にわたって表 4.36 の標準締付けトルクにより均等に締め付けて水密性を図ること。</p> <p align="center">表 4.36 大平面座形フランジの締付けトルク</p> <table border="1" data-bbox="489 760 1219 974"> <thead> <tr> <th>ボルトの呼び</th> <th>締付けトルク(N・m)</th> <th>適用呼び径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M16</td> <td>60</td> <td>75~200</td> </tr> <tr> <td>M20</td> <td>90</td> <td>250・300</td> </tr> <tr> <td>M22</td> <td>120</td> <td>350・400</td> </tr> <tr> <td>M24</td> <td>260</td> <td>450~600</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 呼び径 700 以上はGF形-RF形の使用とすること。</p> <p>(2) GF形 (溝形) フランジとRF形フランジとの接合</p> <p>ア 受注者は、フランジ面及びガスケット溝を清掃し、異物のかみ込みを防ぐこと。</p> <p>イ 受注者は、ガスケットが溝から外れやすい場合、接着剤 (シアノアクリレート) を呼び径によって4~6等分点に点付けすること。</p> <p>ウ 受注者は、ボルトが片締めにならないよう全周にわたって表 4.37 の規定隙間寸法の範囲以内に収まるよう均等に締め付けて、水密性を図ること。</p> <p align="center">表 4.37 溝型フランジ継手の規定隙間寸法 (X)</p> <table border="1" data-bbox="430 1501 875 1753"> <thead> <tr> <th rowspan="2">呼び径 (mm)</th> <th colspan="2">規定隙間 (mm)</th> </tr> <tr> <th>下限</th> <th>上限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75~900</td> <td>3.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>1000~1500</td> <td>4.5</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>1600~2400</td> <td>6.0</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>2600</td> <td>7.5</td> <td>9.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 隙間寸法とは、右図のX寸法をいう。</p> 	ボルトの呼び	締付けトルク(N・m)	適用呼び径	M16	60	75~200	M20	90	250・300	M22	120	350・400	M24	260	450~600	呼び径 (mm)	規定隙間 (mm)		下限	上限	75~900	3.5	4.5	1000~1500	4.5	6.0	1600~2400	6.0	8.0	2600	7.5	9.5	<p>4.4.1 一般事項</p> <p>4.4.2 フランジ継手の接合</p> <p>受注者は 4.2.1 (一般事項) 及び 4.3.1 (一般事項) に準拠して、ダクタイル鋳鉄管、鋼管及びステンレス鋼管の接合をすること。</p> <p>(1) RF形 (大平面座形) フランジとRF形フランジとの接合</p> <p>ア 受注者は、フランジ面を清掃し、異物のかみ込みを防ぐこと。</p> <p>イ 受注者は、移動が生じないようにガスケットに接着剤 (シアノアクリレート系) を塗布し、固定すること。</p> <p>なお、酢酸ビニル系及び合成ゴム系の接着剤は、使用しないこと。</p> <p>ウ 受注者は、ボルトが片締めにならないよう全周にわたって表 4.36 の標準締付けトルクにより均等に締め付けて水密性を図ること。</p> <p align="center">表 4.36 大平面座形フランジの締付けトルク</p> <table border="1" data-bbox="1656 760 2386 974"> <thead> <tr> <th>ボルトの呼び</th> <th>締付けトルク(N・m)</th> <th>適用呼び径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M16</td> <td>60</td> <td>75~200</td> </tr> <tr> <td>M20</td> <td>90</td> <td>250・300</td> </tr> <tr> <td>M22</td> <td>120</td> <td>350・400</td> </tr> <tr> <td>M24</td> <td>260</td> <td>450~600</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 呼び径 700 以上はGF形-RF形の使用とすること。</p> <p>(2) GF形 (溝形) フランジとRF形フランジとの接合</p> <p>ア 受注者は、フランジ面及びガスケット溝を清掃し、異物のかみ込みを防ぐこと。</p> <p>イ 受注者は、ガスケットの固定については、(1)イによること。</p> <p>ウ 受注者は、ボルトが片締めにならないよう全周にわたって表 4.37 の規定隙間寸法の範囲以内に収まるよう均等に締め付けて、水密性を図ること。</p> <p align="center">表 4.37 溝型フランジ継手の規定隙間寸法 (X)</p> <table border="1" data-bbox="1596 1459 2041 1711"> <thead> <tr> <th rowspan="2">呼び径 (mm)</th> <th colspan="2">規定隙間 (mm)</th> </tr> <tr> <th>下限</th> <th>上限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75~900</td> <td>3.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>1000~1500</td> <td>4.5</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>1600~2400</td> <td>6.0</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>2600</td> <td>7.5</td> <td>9.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 隙間寸法とは、右図のX寸法をいう。</p> 	ボルトの呼び	締付けトルク(N・m)	適用呼び径	M16	60	75~200	M20	90	250・300	M22	120	350・400	M24	260	450~600	呼び径 (mm)	規定隙間 (mm)		下限	上限	75~900	3.5	4.5	1000~1500	4.5	6.0	1600~2400	6.0	8.0	2600	7.5	9.5	<p>○接合時の接着剤塗布について、JDPA「フランジ形ダクタイル鉄管 接合要領書 H26.6」の内容に準じて変更しました。</p>
ボルトの呼び	締付けトルク(N・m)	適用呼び径																																																																	
M16	60	75~200																																																																	
M20	90	250・300																																																																	
M22	120	350・400																																																																	
M24	260	450~600																																																																	
呼び径 (mm)	規定隙間 (mm)																																																																		
	下限	上限																																																																	
75~900	3.5	4.5																																																																	
1000~1500	4.5	6.0																																																																	
1600~2400	6.0	8.0																																																																	
2600	7.5	9.5																																																																	
ボルトの呼び	締付けトルク(N・m)	適用呼び径																																																																	
M16	60	75~200																																																																	
M20	90	250・300																																																																	
M22	120	350・400																																																																	
M24	260	450~600																																																																	
呼び径 (mm)	規定隙間 (mm)																																																																		
	下限	上限																																																																	
75~900	3.5	4.5																																																																	
1000~1500	4.5	6.0																																																																	
1600~2400	6.0	8.0																																																																	
2600	7.5	9.5																																																																	

附則—8 給水管工事受注者提出書類一覧

番号	名称	提出部数	提出期限
1	支給材料[受領・返納]書	1	[受領書]材料受領後2日(営業日)以内 [返納書]1通知分の工事完了後、完了日から3日(営業日)以内で、かつ、工期以内とする。
2	メータ隔測化工事調査・設計調書	1	工事着手後、速やかに
3	メータ取付・取外工事材料関係(受領・使用・返納)報告整理表(受注者施工用)	1	1通知分の工事完了後、完了日から3日(営業日)以内で、かつ、工期以内とする。
4	メータ引換票(有効期限メータ)		
5	メータ引換データ一覧		
6	メータ引換未施工調査報告書兼処理経過書		
7	中止メータ取外作業前確認票	1	原則として取付・取外工事完了の翌日(営業日)まで
8	開始メータ取付票		
9	メータ(引換・引上)票		
10	受水タンクバルブ等の閉栓作業計画書	1	断水ビラ配布日の前日(営業日)まで
11	工事施行確認願	2	記載例集作成要領のとおり 1通知分の工事完了後、完了日から7日(営業日)以内で、かつ、工期以内とする。 なお、1通知内で設計及び完成図を作成する場合の設計図は工事着手後、速やかに提出すること。
12	給水管取付替設計図	記載例集作成要領のとおり	
13	給水管取付替工事完成図		
14	取付替工事調書		
15	工事調書(完成図保管用に使用)		
16	取付替情報		
17	給水管取付替リスト	1	
18	給水管施工数量集計表		
19	水道管管理図修正資料		

附則—8 給水管工事受注者提出書類一覧

番号	名称	提出部数	提出期限
1	支給材料[受領・返納]書	1	[受領書]材料受領後2日(営業日)以内 [返納書]1通知分の工事完了後、完了日から3日(営業日)以内で、かつ、工期以内とする。
2	メータ隔測化工事調査・設計調書	1	工事着手後、速やかに
3	メータ取付・取外工事材料関係(受領・使用・返納)報告整理表(受注者施工用)	1	1通知分の工事完了後、完了日から3日(営業日)以内で、かつ、工期以内とする。
4	メータ引換票(有効期限メータ)		
5	メータ引換データ一覧		
6	メータ引換未施工調査報告書兼処理経過書		
7	中止メータ取外作業前確認票	1	原則として取付・取外工事完了の翌日(営業日)まで
8	開始メータ取付票		
9	メータ(引換・引上)票		
10	受水タンクバルブ等の閉栓作業計画書	1	断水ビラ配布日の前日(営業日)まで
11	給水装置施工承認申込書(表面)・給水装置工事施工票(裏面)	1	配管工事完了の翌日(営業日)まで
12	工事施行確認願	2	記載例集作成要領のとおり 1通知分の工事完了後、完了日から7日(営業日)以内で、かつ、工期以内とする。 なお、1通知内で設計及び完成図を作成する場合の設計図は工事着手後、速やかに提出すること。
13	給水管取付替設計図	記載例集作成要領のとおり	
14	給水管取付替工事完成図		
15	取付替工事調書		
16	工事調書(完成図保管用に使用)		
17	取付替情報		
18	給水管取付替リスト	1	
19	給水管施工数量集計表		
20	水道管管理図修正資料		

○工事施工票の廃止に伴い、様式を削除しました。

配水管工事標準仕様書 (R7.4 一部改定)				配水管工事標準仕様書 (R4.4) ※令和4年版以降の一部改定含む				改定の要旨
番号	名称	提出部数	提出期限	番号	名称	提出部数	提出期限	○廃止済の様式のため、項目を削除しました。
20	工事記録写真帳	1	1 通知分の工事完了後、完了日から7日（営業日）以内で、かつ、工期以内とする。 なお、1 通知内で設計及び完成図を作成する場合の設計図は工事着手後、速やかに提出すること。	21	装置関係異動（ステンレス管種別列記式）	1	1 通知分の工事完了後、完了日から7日（営業日）以内で、かつ、工期以内とする。 なお、1 通知内で設計及び完成図を作成する場合の設計図は工事着手後、速やかに提出すること。	
21	道路使用許可証			22	工事記録写真帳			
22	材質改善状況通知票（電子データ）			23	道路使用許可証			
23	既設給水管の処分依頼書			24	材質改善状況通知票（電子データ）			
24	水道メータ前後の一部配管替え施行承諾書			25	既設給水管の処分依頼書			
25	駐車場施設利用整理表			26	水道メータ前後の一部配管替え施行承諾書			
26	貸与資料管理表	1	発生の都度、速やかに	27	駐車場施設利用整理表	1	発生の都度、速やかに	
27	発生品計量証明報告書			28	貸与資料管理表			
28	国道特例浅層埋設給水管管理台帳			29	発生品計量証明報告書			
29	請求書	2	随時	30	国道特例浅層埋設給水管管理台帳	2	随時	
30	辞退届	1	発注辞退の申出後、速やかに	31	請求書			
				32	辞退届	1	発注辞退の申出後、速やかに	

削 除

施行承認申込書
 工事申込書

	課長	課長代理	担当者
東京都水道局長 殿			
お客様番号	照合	確認印	S管
区 水道番号 区分 CD	使用中	中止中	メータ呼び径
工事場所	区市町	丁目	番 号
申込者氏名	区市町	丁目	番 号
指定給水装置工事事業者(委任代理人)	区	丁目	番 号
工事費請求先	区	丁目	番 号
①申込者 <input type="checkbox"/>	<③の場合のみ記入してください。>		No.
②委任代理人 <input type="checkbox"/>	<③の場合のみ記入してください。>		町 別
③その他 <input type="checkbox"/>	<③の場合のみ記入してください。>		受 付 日
			令和 年 月 日
幹線お客様番号			受領日
令和 年 月 日 作成			令和 年 月 日
設 計 費	円	同一敷地内	確認印
消費税相当額	円	既設給水装置	町 別
計	円	有・無	受 付 日
			令和 年 月 日

<申込者の誓約事項>

1. 設置した給水装置を使用する見込みがなくなったときは、自己の負担により撤去します。
なお、撤去費用の負担者を明確にするため、登記上の表示をお知らせしておきます。
2. この工事に関する利害関係人の同意は、すでに申込者が得ていますが、万一、利害関係人その他の者からの異議があっても、すべて申込者の責任において解決します。

<記入上の注意事項>

(申込者の欄)
給水装置を設置しようとする申込者の住所氏名を記入してください。

(指定給水装置工事事業者の欄)
給水装置工事の施行に必要な事務手続等を行う指定給水装置工事事業者の営業所所在地、商号及び代表者名を記入してください。

(工事費請求先の欄)
工事費の予納、還付又は追徴を行う者の口にレを記入してください。③その他の場合は、住所氏名を記入してください。

<工事申込にあたっての注意事項>

1. 工事費は概算額です。工事完了後、清算(追徴または還付)を行います。
2. 給水条例施行規程第14条第1項に基づき、指定期間内に工事費を納付されないときは、工事の申込を取り消したものとみなします。
3. 給水条例施行規程第14条第2項に基づき、工事費納入の日から3月を経過しても工事着手の依頼がなされないときは、工事の申込は取り消されたものとみなします。
4. 工事費請求先に対して予納、還付又は追徴ができない場合は、工事申込者に請求又は還付します。

工事の内容、使用材料などについて指定給水装置工事事業者にご確認のうえお申込みください。

○工事施工票の廃止に伴い、様式を削除しました。

削 除

水追番号 _____ 令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日完工

給水装置工事施工票

受注者		担当者		課長代理	
品名	使用数	品名	使用数		
× サドル ()	個	mm マーチ	個		
サドル付分岐用 ソケット(1部取)	個	mm ソケット ()	個		
mm 仕切弁A ()	個	mm ソケット ()	個		
mm 仕切弁B ()	個	mm 取付金物 ()	個		
mm 仕切弁用シモフ	個	mm マーチマシ (部)	個		
mm ステンレス管	m				
mm 流注ステンレス管	m	16×60	部	本	
mm 伸縮可とう式継手 エルボ	個	mm	部	本	
mm 伸縮可とう式継手 ソケット	個	mm マーチ マシ	部	本	
10~25mm 仕切弁キョウ ()	本				
30~50mm 仕切弁キョウ ()	本	mm 継合	部		
受 取	枚	mm ベンダー加工 管	部		
mm サドル分岐用 プラグ	個				
mm 止水防止板	個				
mm フランジ止	個				

残留塩素濃度	_____ mg/L
封閉水	_____ mg/L
測定日	_____ 年 ____ 月 ____ 日

種別	施工日	種別	口径	番 号	指 針	有効期限
取外しメータ	_____					_____ 年 ____ 月
取付けメータ	_____					

○工事施工票の廃止に伴い、様式
を削除しました。

改定原稿

改定ページのみ

配水管工事標準仕様書

令和7年4月1日一部改定

接合

ル铸铁管の接合)に準拠するほか、次の規定によること。

ただし、R方式については、(3) R方式の規程によること。

(2) ロックリング絞り (LS) 方式

ア 受注者は、ロックリングを完全に挿し口外面に圧着させた状態で切断面の間隔 (a 1) を測定し記録すること。

イ 受注者は、ロックリングのセットに当たっては、ロックリングの切断箇所が必ず管底に来るようにすること。

ウ 受注者は、挿し口を受口に挿入する前に、受口内面奥に表 4.21 に規定する胴付間隔に相当するディスタンスピースを置くこと。

なお、特別な理由で胴付間隔を変える場合は、その寸法のディスタンスピースを用いること。

また、使用したディスタンスピースは、接合完了後必ず撤去すること。

表 4.21 標準胴付間隔 (単位 mm)

呼び径	胴付間隔(Y)
700 ~1500	105
1600 ~2400	115
2600	130

エ 受注者は、受口の溝にロックリング絞り用ゴムをねじれないように挿入すること。

なお、口径 800 ~ 1000 はロックリング絞り用ゴムが無いので、この作業は不要である。

オ 受注者は、ロックリング絞り用ゴムの装着は円周 4 か所の穴の位置・向きを確認し、図 4.19 の方法で行うこと。

カ 受注者はロックリング絞り用ゴムを管に装着後、ロックリング絞り用ゴムの表面にダクタイル鉄管継手用滑材を塗布すること。

キ 受注者は、ロックリングが挿し口に充分装着されているかを確認すること。

確認方法は、挿し口を受口に挿入後、ロックリング切断面の間隔 (a 2) を測定して記録し、この時の間隔と挿入前に測定した間隔 (a 1) とを比較し、呼び径 800 ~ 1500 の場合は $a 2 \leq a 1 + 5 \text{ mm}$ 、呼び径 1600 以上の場合は $a 2 \leq a 1 + 8 \text{ mm}$ であれば正常と判断すること。

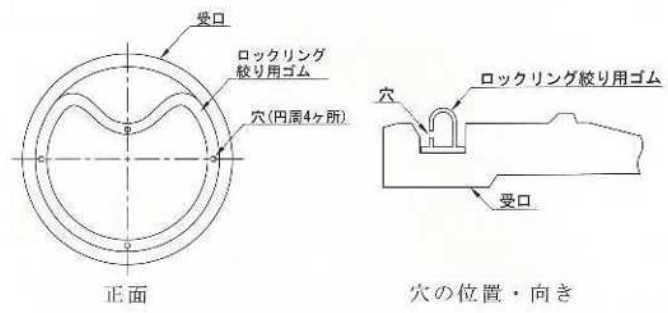


図 4.19 ロックリング絞り用ゴム装着方法（呼び径 1100 以上）

(3) R方式（呼び径1500～2600）（図4.19-1）

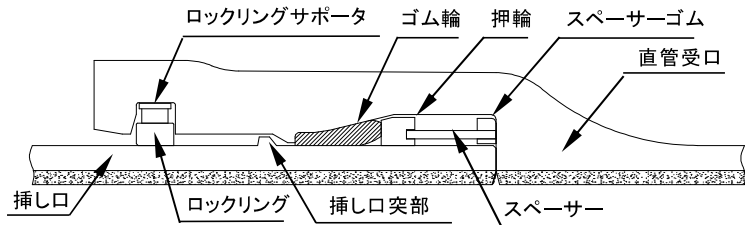


図4.19-1 直管の継手構造

受注者は、(2) のア及びイに準拠するほか、次の規程によること。

ア 受注者は、受口溝にロックリングサポータを装着する。ロックリングサポータは、支持ピース（SUS板）と樹脂ピース（樹脂板）を、連結ピースを用いて交互に組み立てること。（図4.19-2）

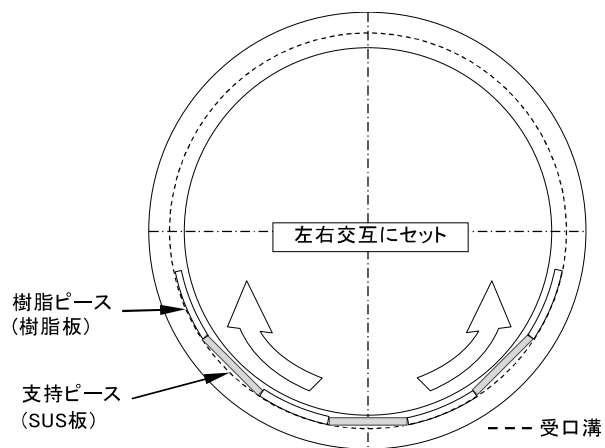


図4.19-2 ロックリングサポータのセット

イ 受注者は、ロックリング分割部をコイル状に重ね合わせ、受口溝内に預け入れること。

ウ 受注者は、ロックリング分割部を拡大器を使って拡大し、ストッパをセットすること。

エ 受注者は、挿し口端部から挿し口突部までの挿し口外面及び受口内面のゴム輪がセットされる部分にダクタイト鉄管継手用滑材を塗布すること。

オ 受注者は、接合に必要な胴付き間隔を確保するため、受口内面奥にディスタンスピースをセットし、ロックリングに挿し口が当たらないように注意しながら、受口に挿し口を挿入する。

第4節 その他の管の接合及び据付け

4.4.1 一般事項

受注者は 4.2.1（一般事項）及び 4.3.1（一般事項）に準拠して、ダクタイル鋳鉄管、鋼管及びステンレス鋼管の接合をすること。

4.4.2 フランジ継手の接合

（1）R F 形（大平面座形）フランジと R F 形フランジとの接合

ア 受注者は、フランジ面を清掃し、異物のかみ込みを防ぐこと。

イ 受注者は、移動が生じないようにガスケットに接着剤（シアノアクリレート系）を塗布し、固定すること。

なお、酢酸ビニル系及び合成ゴム系の接着剤は、使用しないこと。

ウ 受注者は、ボルトが片締めにならないよう全周にわたって表4.36 の標準締付けトルクにより均等に締め付けて水密性を図ること。

表 4.36 大平面座形フランジの締付けトルク

ボルトの呼び	締付けトルク (N・m)	適用呼び径
M16	60	75～200
M20	90	250・300
M22	120	350・400
M24	260	450～600

注 呼び径 700以上はG F 形－R F 形の使用とすること。

（2）G F 形（溝形）フランジと R F 形フランジとの接合

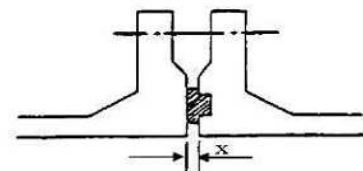
ア 受注者は、フランジ面及びガスケット溝を清掃し、異物のかみ込みを防ぐこと。

イ 受注者は、ガスケットが溝から外れやすい場合、接着剤（シアノアクリレート）を呼び径によって4～6等分点に点付けすること。

ウ 受注者は、ボルトが片締めにならないよう全周にわたって表4.37 の規定隙間寸法の範囲以内に収まるよう均等に締め付けて、水密性を図ること。

表 4.37 溝型フランジ継手の規定隙間寸法 (X)

呼び径 (mm)	規定隙間 (mm)	
	下限	上限
75～900	3.5	4.5
1000～1500	4.5	6.0
1600～2400	6.0	8.0
2600	7.5	9.5



注 隙間寸法とは、右図の X 寸法をいう。

附則－８ 給水管工事受注者提出書類一覧

番号	名称	提出部数	提出期限
1	支給材料受領[受領・返納]書	1	[受領書]材料受領後2日(営業日)以内 [返納書]1通知分の工事完了後、完了日から3日(営業日)以内で、かつ、工期以内とする。
2	メータ隔測化工事調査・設計調書	1	工事着手後、速やかに
3	メータ取付・取外工事材料関係(受領・使用・返納)報告整理表(受注者施工用)	1	1通知分の工事完了後、完了日から3日(営業日)以内で、かつ、工期以内とする。
4	メータ引換票(有効期限メータ)		
5	メータ引換データ一覧		
6	メータ引換未施工調査報告書兼処理経過書		
7	中止メータ取外作業前確認票	1	原則として取付・取外工事完了の翌日(営業日)まで
8	開始メータ取付票		
9	メータ(引換・引上)票		
10	受水タンクバルブ等の閉栓作業計画書	1	断水ビラ配布日の前日(営業日)まで
11	工事施行確認願	2	記載例集 作成要領 のとおり 1通知分の工事完了後、完了日から7日(営業日)以内で、かつ、工期以内とする。 なお、1通知内で設計及び完成図を作成する場合の設計図は工事着手後、速やかに提出すること。
12	給水管取付替設計図	記載例集 作成要領 のとおり	
13	給水管取付替工事完成図		
14	取付替工事調書		
15	工事調書(完成図保管用に使用)		
16	取付替情報	1	
17	給水管取付替リスト		
18	給水管施工数量集計表		
19	水道管管理図修正資料		

番号	名称	提出部数	提出期限
20	工事記録写真帳	1	1 通知分の工事完了後、完了日から7日（営業日）以内で、かつ、工期以内とする。 なお、1 通知内で設計及び完成図を作成する場合の設計図は工事着手後、速やかに提出すること。
21	道路使用許可証		
22	材質改善状況通知票（電子データ）		
23	既設給水管の処分依頼書		
24	水道メータ前後の一部配管替え施行承諾書		
25	駐車場施設利用整理表	1	発生の都度、速やかに
26	貸与資料管理表		
27	発生品計量証明報告書		
28	国道特例浅層埋設給水管管理台帳	2	随時
29	請求書		
30	辞退届	1	発注辞退の申出後、速やかに